

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス
ベストライフ歩

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2025年

1月

31日

法人（事業所）理念	「あー 今日も楽しかった♪また行きたい！」を大切にしたい、しかし、それだけではない、意味のある遊び・来所中のすべての時間がお子様の将来にとって有意義な時間となるように、来てくれている一人ひとりの大切な時間に関わっていきます。				
支援方針	作業療法士（リハビリの専門職）を中心に、家庭や園でのつまずきに積極的に介入し、運動面・学習面・社会面あらゆることに専門的なアプローチを行います。 作業療法士が適宜、検査をし、個別支援計画を立て、個別プログラムに沿った訓練を行います。				
営業時間	9時	30分から	17時	45分まで	送迎実施の有無 あり
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	①検温、顔色等の観察、飲水、排尿排便、睡眠リズムなどの確認。手洗い、うがいなどの保清、身だしなみ、トイレ動作などの確立する。 ②スケジュールに沿った視覚支援や声かけ、時間による片付けや、準備を行う。 ③身長、体重管理やストレス、薬の管理等を促す。			
	運動・感覚	作業療法士を中心に、身体の機能を評価し、手先での巧緻動作や遊び・トレーニング等を通じて手足、体幹の筋力、感覚統合、協調性の向上を行います。 ①創作活動やつまみ動作、パターンゴムボード、粘土、LaQ等を利用し、巧緻性と視覚的空間能力の向上を図ります。 ②サーキットトレーニング、跳び箱、鉄棒、大縄跳び、トランポリン、ケンケン相撲、しっぽとりなど、遊びの要素を取り入れ、運動機能向上を図ります。			
	認知・行動	認知能力に合わせた療育道具による療育やプリント学習などを通じ認知機能の向上を目指します。 ①時間や次の予定を計画し、片付けや次の準備など視覚支援を用いながら行う。 ②パズルや積み木などマッチングや色の識別、大きさ比較、特定のルール下で遊ぶなどの積み重ねを行います。			
	言語 コミュニケーション	指導員との会話の中で、言語の発達に合わせたコミュニケーション能力の向上を図ります。 ①あいさつや日常会話を通じて、相手を考えコミュニケーションできるよう図ります。 ②絵カード、ジェスチャーやマカトンサイン等で非言語のコミュニケーション能力を高めます。			
	人間関係 社会性	社会性や円滑な人間関係を促すための環境調整や関わり方の経験を積み重ねていきます。 ①1人遊びから指導員との会話を通じ、小集団での遊びにつなげ、相手への尊重の気持ちを育てます。 ②指導員や小集団で順番待ちなどの一定のルールの理解を積み重ね、社会性を養います。			
家族支援	連絡ノートを活用したり送迎時に園やご家庭での様子を共有することで、今後の療育活動に活かします。	移行支援	ケース会議や面談等を行いながら、次の進路先に向けて必要な療育活動等を検討し、移行先での自信や安心につなげていきます。		
地域支援・地域連携	園や他の福祉サービスと連携し、包括的な支援を行います。	職員の質の向上	身体拘束や虐待防止、感染対策など定期的に職員の知識向上と実践研修を行います。 外部の研修会への参加や資格取得を積極的に行います。		
主な行事等	季節の創作活動（ひな祭り、子供の節句、ハロウィン、クリスマス、節分など）。				